

田島高校生が身につける4つの力（ルーブリック）



福島県立田島高等学校

資質・能力		レベル１	レベル２	レベル３	レベル４	レベル５
知力・学力	すべての土台となる基礎学力とそれを活用する力	①義務教育（中学校まで）の学習内容をほとんど習得できていない。	①義務教育（中学校まで）の学習内容をほとんど習得しているが、②高校での学習内容をあまり理解できていない。	①義務教育（中学校まで）の学習内容をほとんど習得し、②高校でのその時点までの学習内容もある程度理解できている。	①義務教育（中学校まで）の学習内容をほとんど習得し、②高校での学習内容と合わせて、③状況に合わせて応用・活用しよう意識することができる。	①義務教育（中学校まで）の学習内容をほとんど習得し、②高校での学習内容と合わせて、③状況に合わせて応用・活用することで、④具体的な問題の解決に向けて行動することができる。
		①日々の生活において、ものごとを前向きに捉えることができない。	①日々の生活において、ものごとを前向きに捉えることはできるものの、②実際の行動にはあまり移すことができない。	①日々の生活において、ものごとを前向きに捉え、②実際の行動に移すことができるが、③具体的な見通しを立てたうえでの行動にはならない。	①日々の生活において、ものごとを前向きに捉え、④自分の興味のあることであれば、③意欲的に、かつ具体的な見通しを立てて、②行動することができる。	①日々の生活において、ものごとを前向きに捉え、④どのような場面でも③自ら意欲的に、具体的な見通しを立て、⑤必要に応じて「ふり返り」を行いながら②行動することができる。
		①自分と異なる意見を受け入れようとしない（話を聞いて理解しようという姿勢がない）。	①自分と異なる意見を受け入れることはできるが、②そのうえで自己の考えを相手に伝えるように丁寧に述べることはできない。	①自分と異なる意見を受け入れながら、②自己の考えを相手に伝えるように丁寧に述べることができるが、③問題解決のために実際に行動することはできない。	①自分と異なる意見を受け入れながら、②自己の考えを相手に伝えるように丁寧に述べることができ、③他者と協力しながら問題解決のために行動することができる。	①自分と異なる意見を受け入れながら、②自己の考えを相手に伝えるように丁寧に述べることができ、④自ら働きかけて、様々な考えの人々を巻き込みながら、③問題解決のために行動することができる。
		①困難な課題や状況に直面すると、あきらめの気持ちから、ものごとに取りかかることができない。	①困難な課題や状況に直面しても、その解決に向けて取りかかることができるが、②すぐに結果がともなわないと、いつも途中であきらめてしまう。	①困難な課題や状況に直面しても、その解決に向けて取りかかることができるが、②すぐに結果がともなわないと、途中であきらめてしまうことが多い。	①困難な課題や状況に直面しても、その解決に向けて前向きに取り組むことができ、②すぐに結果がともなわなくても、多くの場面であきらめることなく行動を続けることができる。	①困難な課題や状況に直面しても、その解決に向けて前向きに取り組むことができ、②すぐに結果がともなわなくても、目標を達成するまであきらめることなく、常に最後まで行動を続けることができる。
「自分の未来」と「地域の未来」を、自らの意志と行動で切り拓く力						

※田島高校を卒業するまでに、「4つの力」を身につけよう。そのために、節目節目で的確に自己分析できるようにしよう。